

所蔵作品展「MOMAT コレクション」

2020年11月3日 [火・祝] — 2021年2月23日 [火・祝]

特集「今」とかけて何と解く？



牧野虎雄 《明るい部屋》 1931年、4室にて展示

今期のポイント

今期の MOMAT コレクションでは9つの部屋を使い、特集「『今』とかけて何と解く？」を行います。コロナ禍にある「今」をふまえ、「なぞかけ」風にさまざまな角度から100年の美術を考えた9つの「解」をご用意しました。その解は、「#MuseumBouquet」「ディスタンス」「今こそ、小さな作品を」など。「なぞかけ」には、「解」に続く「落ち」がつきもの。個性表現とイズム、美術と国家、主体と客体や、作品と美術館などの関係に注目した「解」に、共通する「落ち」を探るとすれば、それは「距離が大事です」となるでしょうか。現象から距離を保ち現況を観察する、そうしたアーティストに特有の姿勢は、わたしたちが「今」を創造的に過ごすためのヒントとなりそうです。

今期のみどころ

1. 特集「今」とかけて何と解く？

コロナ禍はまだ渦中にありますが、複眼的なアートの視点からいつもと違う「今」を考えようという特別企画です。20世紀はじめから今日にいたるまでの日本の近現代美術100年の流れという MOMAT コレクションの枠組みはそのまま、特集が組まれます。9つの「解」には、「#MuseumBouquet」「美術と生命」「明るい家」「美術と国家 | 連邦美術計画」「ディスタンス」「今こそ、小さな作品を」などをご用意。

2. 岡崎乾二郎による最新作〈TOPICA PICTUS〉を初公開します

現代を代表する造形作家のひとり岡崎乾二郎は、今年3月から6月にかけてアトリエにこもり、150点強の絵画作品を集中的に描き上げました。今後、この最新シリーズ〈TOPICA PICTUS〉は世界各地さまざまな場所で分散的に展示されますが、MOMAT コレクション展でも、特集展示として、その一端を初公開します（展示点数未定）。



岡崎乾二郎 《Pittura Senza Disegno / 風景のなかの聖母子 / Altarpiece》 2020年
作家蔵、© Kenjiro Okazaki、12室にて展示

今期のみどころ

3. ギャラリー4では「男性彫刻」を特集

近代彫刻では女性像がメジャーですが、実は女性像と同じくらい男性像も制作され、当館にも数多く收藏されています。いわば蔵出し展でもあるこの展示では、石膏像や展示機会の少ない作品も交え、例えば、筋骨隆々の力強さとか、威厳とか、老いの悲哀とか、女性像ではなかなかお目にかからない男性像に特有の表現傾向をとりあげて紹介します。

（「男性彫刻」の会期は11月25日[水]～2021年2月23日[火・祝]）

4. 特集以外にも見どころ沢山！

名品が揃うハイライトには、修復を終えたばかりの藤田嗣治《猫》（1940年）が登場。日本画の前期は平家物語など歴史上の人物やエピソードを描いた作品、後期は冬から春のきざす頃にかけての季節を味わう作品を紹介。写真は没後20年を迎えた写真家・鈴木清の自伝的な作品「流れの歌」より、1972年の写真集出版当時のプリント24点を展示します。



萩原守衛《文覚》1908年、撮影：大谷一郎
ギャラリー4「男性彫刻」にて展示



ポール・セザンヌ《大きな花束》1892-95年頃
2室にて展示



鈴木清《「流れの歌」より 女 川崎》1971年、寄託作品
9室にて展示

■作品解説をお手持ちのスマホで

所蔵作品展「MOMATコレクション」の作品解説（和英中韓の4ヶ国語）を、お手持ちのスマートフォンにダウンロードしてお楽しみいただけるサービスを行っています。「CatalogPocket」という無料のアプリをインストールすると、展示中の作品のうち、約100点の作品解説を4ヶ国語でご覧いただけます。解説を自動読み上げ音声で聞くこともできます。

なお、この事業はDNP大日本印刷のご協力によるものです。

ブラウザ版 <https://www.catapoke.com/index.php>



iOS版



Android版

■広報用画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品画像は、いずれも無料で貸出しております。貸出しの条件は以下のとおりです。

1. 展覧会（所蔵作品展「MOMATコレクション」）の会期中または会期前に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会名（所蔵作品展「MOMATコレクション」）と会期、掲載作品が展示中である旨を記してください。
3. 原則として、トリミングや文字載せはご遠慮ください。

4. 著作権の保護期間内にある作品については、掲載者側で事前に著作権者の許可をお取りください。

ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間にある作品も許可無しでご利用になれます。

5. 画像の二次使用はお断りしております。

6. 展示期間外の画像のご利用は、DNPアートコミュニケーションズから有償での貸出しになります。

（<https://images.dnpartcom.jp/>）

開催概要

タイトル（日）	所蔵作品展「MOMATコレクション」 特集：「今」とかけて何と解く？
読み方	しょどうさくひんてんもまっとこれくしょん とくしゅう：「いま」とかけてなにととく？
（英）	Collection Exhibition MOMAT Collection Special feature: What Is Like the Present?
会期	2020年11月3日[火・祝] - 2021年2月23日[火・祝]
会場	東京国立近代美術館 4F - 2F 所蔵品ギャラリー 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
主催	東京国立近代美術館
開館時間	10:00-17:00（金・土曜は20:00まで）入館は閉館の30分前まで
休館日	月曜日（ただし2020/11/23、2021/1/11は開館）、 11/24[火]、12/28[月]～2021/1/1[金・祝]、2021/1/12[火]
アクセス	東京メトロ東西線 竹橋駅 1b出口より 徒歩3分
観覧料	一般 500円（400円） 大学生 250円（200円） ※（ ）内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 ※ 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、障害者手帳をお持ちの方とその付添者（1名）は無料。 ※ キャンパスメンバーズ加入校の学生・教職員は学生証または教職員証の提示でご観覧いただけます。 ※ 「友の会MOMATサポーターズ」、「賛助会MOMATメンバーズ」会員の方は、会員証のご提示でご観覧頂けます。 ※ 「MOMAT支援サークル」のパートナー企業の皆様は、社員証のご提示でご観覧いただけます。 （同伴者1名迄。シルバー会員は本人のみ） ※ 日時指定制を導入しております。当日券を販売しておりますが、オンラインでの事前のご予約・ご購入をお勧めいたします。 https://www.e-tix.jp/momat/
お問い合わせ	050-5541-8600（ハローダイヤル）
ホームページ	https://www.momat.go.jp
同時開催	企画展ギャラリー（1F） 「眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」 2020年11月25日[水] - 2021年2月23日[火・祝] ※ 観覧料 一般1,200（1,000）円、大学生600（500）円 ※ 「眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」の観覧料で入館当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」（4-2F）もご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開館日や開館時間に変更が出る可能性があります。
最新の情報は当館ホームページでご確認くださいませよう願ひ申し上げます。

【報道関係お問い合わせ先】

広報担当：小川、堀田 TEL：03-3214-2565 FAX：03-3214-2576 Email：pr-f@momat.go.jp